

# 数学

## 京都大学 [理系] (前期)

### <全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式  
記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

#### 出題の特徴や昨年との変更点

数学Ⅲの比重が大きくなった。**3**は京大ではよく出ているタイプ。**6**以外は誘導のための小問はない。

#### その他トピックス

**2**と**3** (1) は文系と共通。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
<b>1</b> 問1 問2	積分法 整式	数学Ⅲ 数学Ⅱ	部分積分法 剰余を求める	やや易 標準
<b>2</b>	空間ベクトル	数学B	空間における2直線の交点	やや易
<b>3</b>	確率	数学A	余事象を考える	標準
<b>4</b>	微分法	数学Ⅲ	関数の最大値、最小値	標準
<b>5</b>	積分法	数学Ⅲ	線分が通過してできる立体の体積	やや難
<b>6</b>	三角関数、多項式	数学Ⅱ	$\cos n\theta$ を $\cos\theta$ で表す多項式 (1) の結果から最高次の係数に着目できるかがポイント	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

誘導がない問題が多いので、解法を誘導する小問はなくして考える練習をすること。高度な論証力を養うために、難しめの問題の解答 (途中まででも) が書けたら、添削指導を受けるのが有効である。